

# OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟  
2009年11月28日発行 第20号

# JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ  
2009年11月28日(土)・29日(日) 後期11節

## 関西学生サッカーリーグ 最終節

全国一番乗り！

写真：立命大



第10節 立命大-大院大より

Photo: jufa-kansai

ついに最終節！インカレ出場、1部残留、入替戦、2部自動降格一全てが決まる。  
11月最終週…それぞれが熱くなる最高の舞台が整った！学生サッカーマンの熱き戦いから目が離せない！彼らの戦いを最後まで見守りたい。

### ■ 11月28日(土) 山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場 <第1試合> 11:30 Kick off 大産大-大教大

自身と大体大の結果如何では降格の可能性もある大産大。最終節を負けられない状態で迎えた。「自分自身の調子を取り返すためにもがむしゃらでやりたい」とは橘章斗。自チームの引き分け以上が必要条件ながらも、次を見据え気を引き締める。対するは、入替戦に回る事が確定した大教大。エース・森原慎之佑は「少しでも上の順位で終わりたい。そのために必ず勝つ」とこちらも見据える。入替戦圏内の両チームの戦いぶりに注目だ。

### <第2試合> 14:00 Kick off 大体大-京産大

前節、びわこ大戦に引き分け、他力ではあるが入替戦に臨みをつないだ大体大。そのびわこ大戦で殊勲のゴールを決めた相川茂樹は「奇跡をみんなが信じている。勝って残留に近付く」と降格圏脱出を誓った。第1試合の結果の影響は避けられないが最終戦を全力で戦う。一方、前節の惜敗で降格が決まってしまった京産大。古井裕之監督は、「降格が決まったのは、自分たちの力の無さ。それでも最後の試合は悔しさを全面にぶつきたい」と意地を見せにかかる。

### ■ 11月29日(日) @大阪長居第2陸上競技場 <第1試合> 11:00 Kick off 大院大-びわこ大

前節、追いつ追われつのシーソーゲームで立命大に競り負けた大院大。ただ、一時はリードを奪うなど、試合内容は悪くはなかった。最終戦の相手は、前期で惜敗したびわこ大。MF⑦加藤健太主将は「最後だし、勝って締めくりたい」と意気込む。勝つためには、守備陣の踏ん張りポイントとなる。対するびわこ大。既に1部残留は決まっている。「これがラストゲーム。1年間の集大成。そういった試合を見せたいし、最終学年には精一杯戦ってもらいたい」と望月聡監督。1年の締めくりまで全力で戦い抜く姿勢にブレはない。

### <第2試合> 13:30 Kick off 関西大-阪南大

最終節・最後の一番。前節の星の取りこぼしで優勝の可能性は他力が絡む関西大。古橋勇希コーチは「阪南大は今一番勢いがあるチーム」と警戒。「1週間やり直している状態で臨めたらと思う。最後まで気持ちで負けないようにやりたい」とも古橋コーチ。勝って優勝に望みを繋ぐ。対する阪南大。インカレ出場の為には引き分け以上が最低条件だが、それでは他の試合結果が影響する。前節快勝後、「今日の試合に勝っても最終節に勝たないと意味が無い」と岸本直。4得点で勝利に貢献した細野元伸も「インカレ出場のために負けない戦いが続く」と最終戦に懸ける気持ちは一緒。勝利という結果で全国切符を取りに行く。

### ■ 11月29日(日) @大阪長居スタジアム <第1試合> 11:30 Kick off 関学大-立命大

最終節の一番。優勝をかけてぶつかる両校の対戦。「関学は何で勝負するのか、この1年何をやってきたのかを整理して、気持ちを一つにして戦いたい」と関学大・成山一郎ヘッドコーチ。「どちらが自分たちのサッカーをできるかだと思う」とこの試合を見据える。前節、逆転勝利でインカレ出場一番乗りを決めた首位・立命大。MF⑧福本尚純主将は「うれしいのが本音」と話しながらも「(インカレに)行くのが目標じゃない」ときっぱり。選手らの目線の先にあるのは、もちろん日本一。そのために、最終戦も勝利し、まずは関西優勝を成し遂げたい。

### <第2試合> 14:00 Kick off 桃山大-同大

前節までの結果で1部残留を決めている両校の対戦。両校の選手にとって今年の大学サッカー最終戦となる。「(同大もウチも)何もかからない試合ですが、最後だししっかり勝って、3年生以下は来季につながる試合にしないといけない」と、桃山大・松本直也監督。対する同大・望月慎之監督も「最後なので悔いが残らない試合ができればと思う」と一言。「ウチらしい攻撃的なところが取り戻せているので、それをどれだけ長い時間出せるか、立ち上がりから集中していけるか」(望月監督)と試合への思いもはせる。第87回関西学生サッカーリーグのラストゲーム。両者の熱い魂のぶつかり合いに期待したい。

同志社大学 vs 関西大学

関関戦に敗れ3位、もはや勝つしかない関西大は3分、DF⑥清水孝太がPKを冷静に決めて幸先よく先制。だがその後、試合を優勢に進めたのは同大。リズムの良いパスワークで、DFの押し上げもスムーズ、MF⑧荒堀謙次を中心にセカンドボールを拾い、主導権を握る。惜しかったのは11分、FW⑨角島康介の巧みなシュートはGK①児玉剛のファインセーブに阻まれる。押しこまた関西大だが、DFは、要所はしっかりと締め、同大になかなかシュートを打たせないのはさすが。

後半も同大ペースで時間は経過する。しかし、前半同様フィニッシュに問題を抱えたまま。関西大は63分の選手交代で21田中裕人の1 ボランチから通常の2 ボランチに戻し、バランスを取り戻そうとする。ここで、同大GKに予想外の足の痙攣というアクシデント。治療は手間取り、78分に結局交代する。集中が切れたこの同大のスキについて、関西大は81分、ゴール前に押し込み、最後はFW⑰金園英学が2年連続得点王当確の今季15ゴール目で貴重な追加点。さら2分後、交代出場のMF⑩金久真也から金園、そしてラストパスを受けた⑧藤澤典隆がこれを決めダメ押し。最終節・阪南大戦に優勝の望みをつないだ。  
(文：サッカーライター 貞永 晃二)

同大 0 - 3 関西大

■11月21日(土) 11:30 kick off  
@高槻市立総合スポーツセンター

◆得点(アシスト)◆  
関西大 3分 6 清水 孝太  
関西大 81分 17 金園 英学  
関西大 83分 8 藤澤 典隆  
(10 金久 真也・17 金園 英学)

桃山学院大学 vs 関西学院大学

桃山大 0 - 0 関学大

■11月21日(土) 14:00 kick off  
@高槻市立総合スポーツセンター

前節の敗戦でインカレ出場絶望となった桃山大だが、「このまま勝ち点を取れずに終われない」という松本直也監督の言葉通り、モチベーションを下げることなく、首位関学大に挑んだ。試合を支配したのはやはり関学大。MF⑱梶川諒太の積極的なシュートが目立つ。だが、強風下の風下ということもあってか、いい組み立てから敵陣に入ってもラストパスの精度を欠き得点には至らない。

ハーフタイムに「風上だからどんどんシュートを」という成山一郎ヘッドコーチの指示を受けた後半の関学大。梶川、MF⑲阿部浩之らが積極的に狙うが、桃山大は随所で体を張った守備で立ちはだかる。67分には、相手GKの6秒オーバータイムで絶好の位置でのFKもあったが、これも決め切れない。桃山大も機を見て反撃に出て、FW⑰齋藤達也の惜しいシュートはあったが、リーグ最少失点を誇る関学大の守備における集中は見事、奪ってはカウンターにつながり、1点が遠い。関学大は終盤、セットプレー、ロングスローと桃山大をゴール前にクギ付けにしたが、桃山大は意地を見せスコアレスドロー。最終節、関学大優勝の条件は首位浮上の立命大に勝利し、関西大の引き分け以下を待つことになった。  
(文：サッカーライター 貞永 晃二)

阪南大学 vs 大阪産業大学

第2試合の結果如何では優勝の可能性のある阪南大。負けられない試合にベストメンバーを用意するも試合前直前、要のMF⑭東浩史をメンバーから外さざるを得ないアクシデントに見舞われる。しかし、絶好調の阪南大には影響は無かった。

この試合、FW⑬細野元伸の得点力が爆発。15分、DF③朴帝宣の左サイドからのパスをゴール中央で落ち着いて決め先制。大産大もMF⑩橋章斗を中心に果敢にゴール前に攻め込むがあと一步届かず再三ゴールに嫌われてしまう。その後、阪南大が初スタメンとなったMF⑬岸本直のゴールで2点をリードして後半へ。

後半も終始運動量が安定していた阪南大のペースで進み、61分にはMF⑦井上翔太のペナルティエリア中央からのシュートを大産大GK①朴寛明がはじいたところを詰めていた細野が押し込む。更に3分後にもMF⑧長瀬圭佑からのパスを角度のないところからまたしても細野が合わせゴール。大産大GKが反応するもボールはゴールに突き刺さった。勢いのある阪南大は73分にも細野がダメ押しの5点目を決め快勝。前半は勢いのある大産大だが、決定機を決め切れないことが後半にも響きスコアレス。最終節の結果によっては降格の可能性もあるため、厳しい週末を迎えることとなった。  
(文：関西学連 f)

阪南大 5 - 0 大産大

■11月21日(土) 11:30 kick off  
@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点(アシスト)◆  
阪南大 15分 13 細野 元伸(3 朴 帝宣)  
阪南大 25分 43 岸本 直  
阪南大 61分 13 細野 元伸(7 井上 翔太)  
阪南大 64分 13 細野 元伸(8 長瀬 圭佑)  
阪南大 73分 13 細野 元伸  
(7 井上 翔太・6 井手口 正昭)

立命館大学 vs 大阪学院大学

首位・関学大と勝ち点で並ぶ2位・立命大。インカレ出場のためには、絶対に落とせない一戦だった。序盤は立命大ペース。16分、ペナルティエリア内でFW⑩佐原啓泰が粘ってスルーパス。DFの背後を取ったMF24加藤恒平がこれに滑り込みながら合わせて先制点を奪う。しかし29分、大院大のMF80東洗太郎が同点ゴールを決めると、流れは大院大に。立命大は要のMF⑧福本尚純へのマークが厳しく、なかなかチャンスを作れない。

後半に入り59分、大院大は右サイドのFW⑨岡村和哉からのクロスをもつFW53四ヶ浦寛康がヘディングで合わせて逆転。しかしその2分後、立命大はまたも加藤のゴールで追いつく。すると70分には大院大MF⑫真鍋裕也が2枚目のイエローカードで退場。これで完全に勢いづいた立命大は、84分に加藤のこの日3点目となるゴールで逆転に成功。さらに86分にも1点を追加して勝負を決めた。

苦しみながらもなんとか逆転で勝ち点3を手に入れた立命大。関学大が桃山大と引き分けたため、一番乗りでのインカレ出場が決定した。試合内容は良かったとは言えないが、結果を出せたことはなにより大きい。日本一という目標に向け、まずは第一関門を突破した。  
(文：UNN関西学生報道連盟 浅井 淳平)

**立命大 4 - 2 大院大**

■11月21日(土) 14:00 kick off  
@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点(アシスト)◆  
立命大 16分 24 加藤 恒平(20 佐原 啓泰)  
大院大 29分 80 東 洗太郎(22 日高 大地)  
大院大 59分 53 四ヶ浦 寛康(9 岡村 和哉)  
立命大 61分 24 加藤 恒平  
立命大 84分 24 加藤 恒平(6 是井 優輔)  
立命大 86分 44 玉林 郷(5 前野 貴徳)

大阪教育大学 vs 京都産業大学

**大教大 1 - 0 京産大**

■11月22日(日) 11:30 kick off  
@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点(アシスト)◆  
大教大 72分 16 田中 俊一(9 森原 慎之佑)

試合前に両監督が語ったキーワードは“先制点”と“スタミナ”。大教大・入口豊監督は「スタミナや技術は相手が上かも知れない。だから先に点を取って試合を有利に進めたい」と京産大のタフさを警戒。京産大・古井裕之監督は「走りきるスタミナには自信がある。しかし先制されるとリズムを崩したりして、それが活きない。ゼロでしのぎたい」とこちらは自分たちの強みと弱みを認識した上でゲームに入る。

開始早々に、いきなり大教大がGKとの1対1というビッグチャンスを迎えるが、それを決められず、そこからゲームは膠着状態になる。両チームとも積極性があり、中盤を丁寧に作って、相手のゴール前までは迫る。しかしそこから、なかなかシュートまで持って行かず。シュートを打っても相手を脅かすようなものは無し。42分に、京産大のMF⑩小笠原侑生のみドルシュートがポストを叩いて、前半を終えた。

試合を決めたのは、大教大のカウンターだった。前半からボールが回って来なくても、我慢強く待ち続けていたFW⑨森原慎之佑。数少ないカウンターのチャンスを常に狙っていた。森原の足下に絶好のボールが届いたのは72分。独力で相手DFを切り裂く。「ドリブルをしている間にシュートを打ちたかったが、相手が壁になっていた。その時、フリーの味方が見えた」という冷静さが試合を決める。森原から優しいパスを受けたMF⑯田中俊一が余裕を持ってヘッドで決めた。

京産大はパワープレーに出たが、ゴールネットを揺らせず、1節を残して、降格が決まってしまった。  
(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

びわこ成蹊スポーツ大学 vs 大阪体育大学

守備にやや不安がある大体大としては、しっかりと守りから入りたかったが、12分に簡単に先制を許してしまう。びわこ大のMF⑦小池遼が右サイドでボールを持つ。大体大のプレッシャーも弱く、余裕を持って狙いすましたアーリークロスを蹴る。そのボールがゴール前で待つ、好調を維持するFW⑬平野甲斐の頭に届く。「相手GKの位置も見えていたので」という平野のヘッドは柔らかい弧を描いてGKの頭上を抜いた。

敗戦が降格を意味する大体大は、半ば強引に反撃に出る。しかし、したたかなびわこ大は、ボールを持って大体大のDFラインの裏を狙い、決定機を量産した。大体大GK41森廣泰彦のナイスセーブとシュートミスで追加点は入らなかったが、完全なびわこ大のリズムで前半は進んだ。

後半、大体大は、俊足トップ⑩川西翔太と⑧村田和哉、そして途中出場の⑪山本翔一のトリオを中心に反撃に出る。彼らの個人技からのシュート場面も増えるが、びわこ大を崩し切れてはいなかった。後半途中からは、アーリークロスをびわこ大のDF中央に蹴って、そこからのスクランブルを狙う攻撃に変えたもののゴールに繋がらない。その閉塞した状況を打ち破ったのが、MF⑭相川茂樹。79分、川西からボールを受けると、25メートルほどの距離を強引に、そして豪快に打ち抜く。鮮やかなミドルで同点に持ち込む。結局、逆転にまでは持ち込めなかったが、大体大が最終節まで残留の可能性を残した。  
(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

**びわこ大 1 - 1 大体大**

■11月22日(日) 14:00 kick off  
@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点(アシスト)◆  
びわこ大 12分 13 平野 甲斐(7 小池 遼)  
大体大 79分 14 相川 茂樹(10 川西 翔太)